

令和3年度全国学力・学習状況調査における

北九州市立 ひびきの 小学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和3年5月27日(木)に、6年生を対象として、「教科(国語、算数)に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査内容

- (1) 教科に関する調査(国語、算数)

教科に関する調査(国語、算数)

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に 関わる内容

※調査では、上記①と②を一体的に問うこととする。

- (2) 児童質問紙調査

児童質問紙調査

○学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

3. 教科に関する調査結果の概要

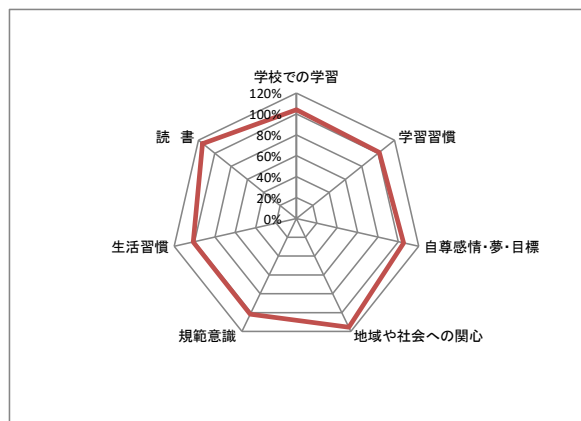
(1) 全国・本市の学力調査(国語, 算数)の結果

本年度の結果	国語		算数	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	8.8	63	11.0	69
全国	9.1	65	11.2	70

(2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	ほとんどの設問において全国平均正答率を大きく上回っており、全体的によく理解できているといえる。特に、思考力、判断力、表現力を問う問題において、正答率が高い傾向が見られる。	全国平均正答率との比較 上回っている
	よくできた問題	・目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約する問題。 ・自分の主張が明確に伝わるように、文章全体の構成や展開を考える問題。	
	努力が必要な問題	文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握する問題。	
算数	全体的な傾向や特徴など	ほとんどの設問において全国平均正答率を大きく上回っており、全体的によく理解できているといえる。特に記述式の問題において、正答率が高い傾向が見られる。	全国平均正答率との比較 上回っている
	よくできた問題	・小数を用いた倍についての説明を解釈し、ほかの数値の場合に適用して、基準量を1としたときに比較量が示された小数に当たる理由を記述する問題。 ・三角形形の面積の求め方に関する問題。	
	努力が必要な問題	・速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察する問題。	

4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析
・「学習習慣」、「学校での学習」、「読書時間」、「生活習慣」、「規範意識」、「地域や社会への関心」と、全ての領域において全国の平均値を上回っている。自尊感情が高く、夢や目標をもち、人の役に立つ人間になりたいと考え、地域や社会をよくするために何をすべきか考えている児童が多く見られる。 ・授業においては、「各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめたり、思いや考えをもとに新しいものを作り出したりする活動」や「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりする活動」に積極的に取り組むことができていく児童が多く、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善が進んでいると考えられる。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

- ・国語においては、複数の文章を読む活動を多く取り入れ、粘り強く文章全体の構成を捉えたり要旨を把握したりすることにより、筆者の考えに対する自分の考えをまとめることができるよう指導する。
- ・算数においては、比例を用いることにより道のりから時間を求めることができるといった、比例を使う良さを理解できるよう指導する。また、日常の事象に戻して答えの意味を考え、必要に応じて見直すことができるよう指導する。

② 家庭生活習慣等に関する取組

- ・休日の家庭学習は十分行っているが、平日の家庭学習の時間がやや少ない傾向にある。平日の家庭学習の時間が多くなるよう、学校で指導を行っていくとともに、家庭に協力を求める。
- ・最近、SNS上でのトラブルが見られるため、スマホ・ケータイ安全教室等実施し、ルールやマナーなどについて学べるようにする。